

令和7年度 東大阪市 LINE アンケート

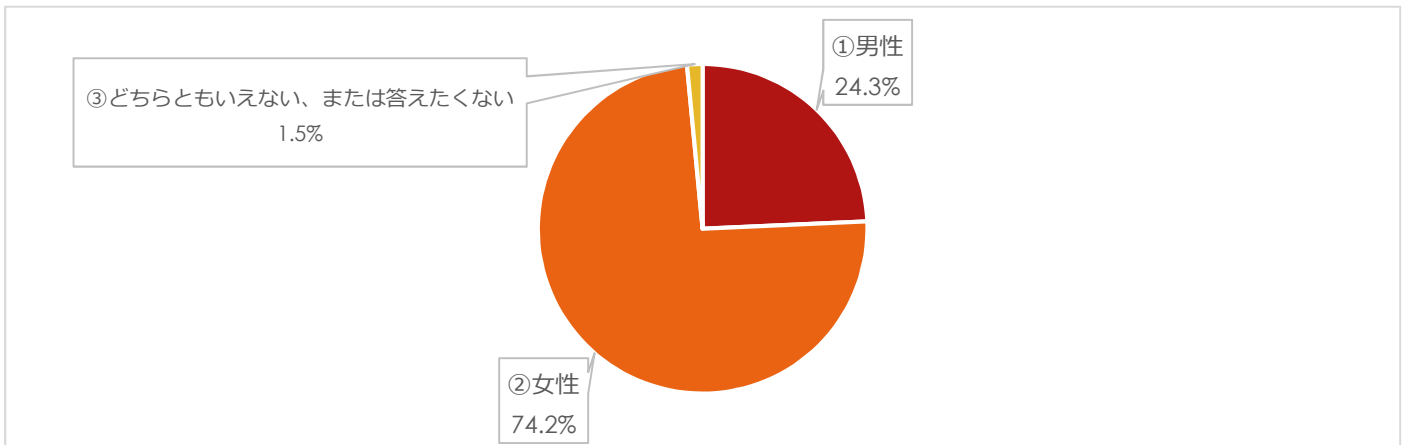
令和7年5月19日～5月26日に東大阪市 LINE 公式アカウントを活用して「食品ロスに関するアンケート」を実施しました。

目的

食品ロス削減に向けた施策の参考とするためのアンケート。

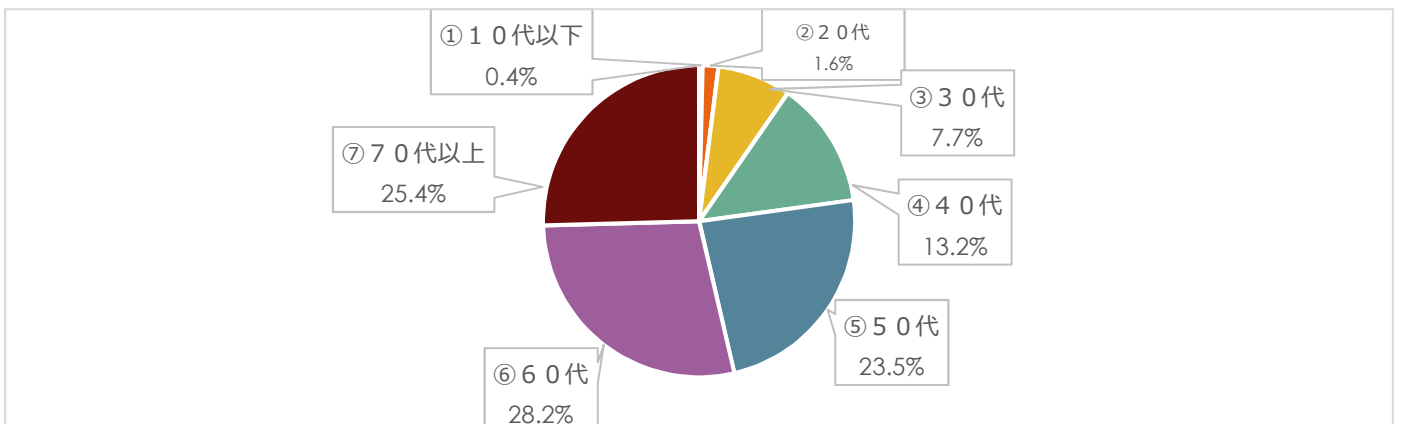
対象者	有効回答数
東大阪市 LINE 公式アカウントの友だちの内、東大阪市在住で登録されている方	2,716 人

問1. 性別を教えてください。



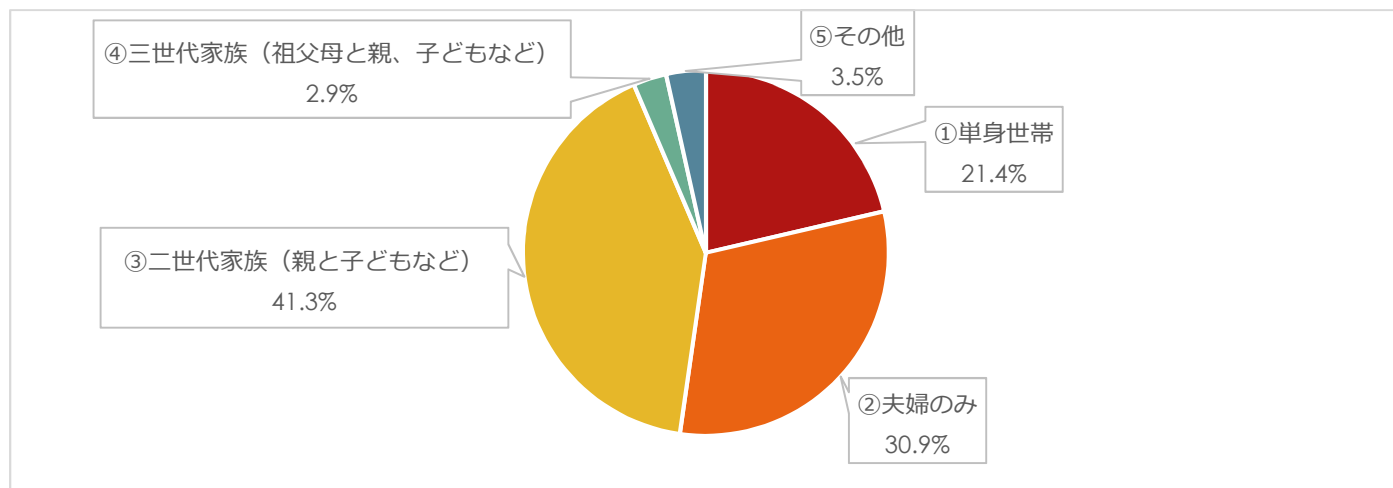
「②女性」の方に多く回答いただきました。

問2 年齢を教えてください。



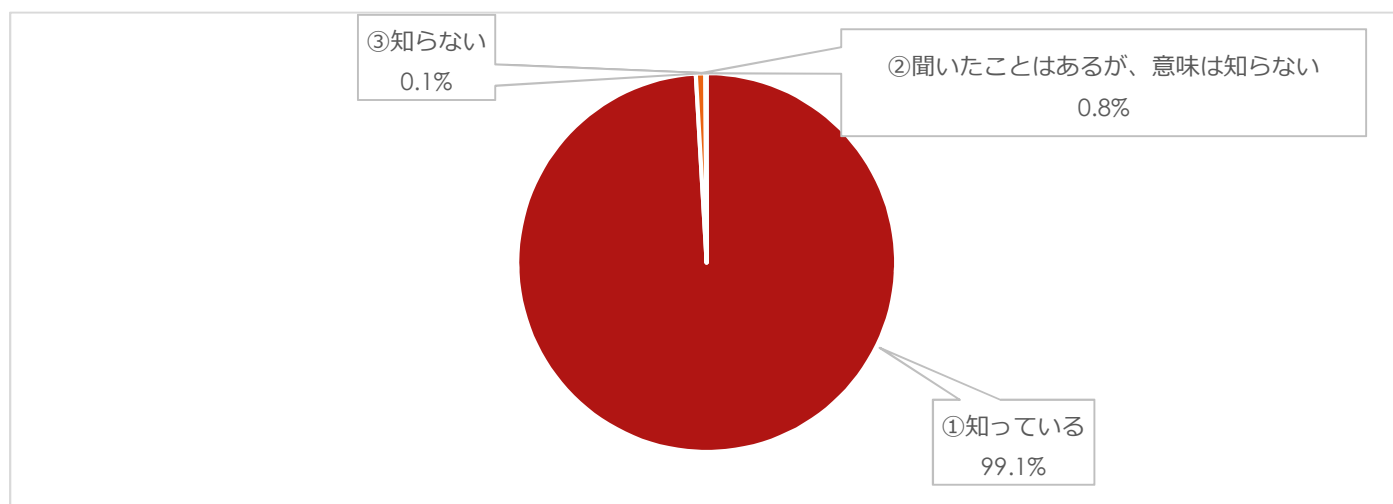
様々な年代の方に、回答いただきました。

問3 世帯構成を教えてください。



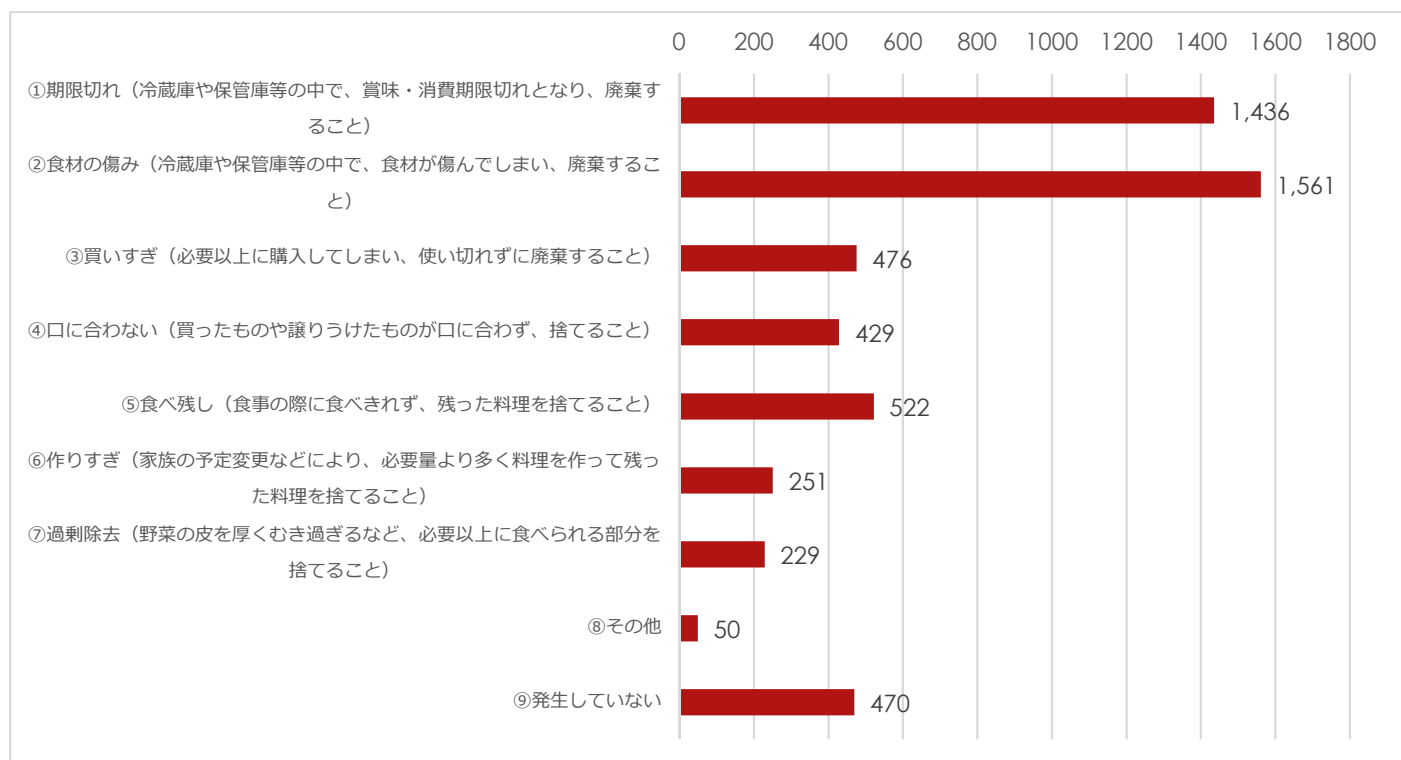
「③二世世代家族(親と子どもなど)」が41. 3%と最も高くなりました。

問4 あなたは「食品ロス」という言葉を知っていますか。



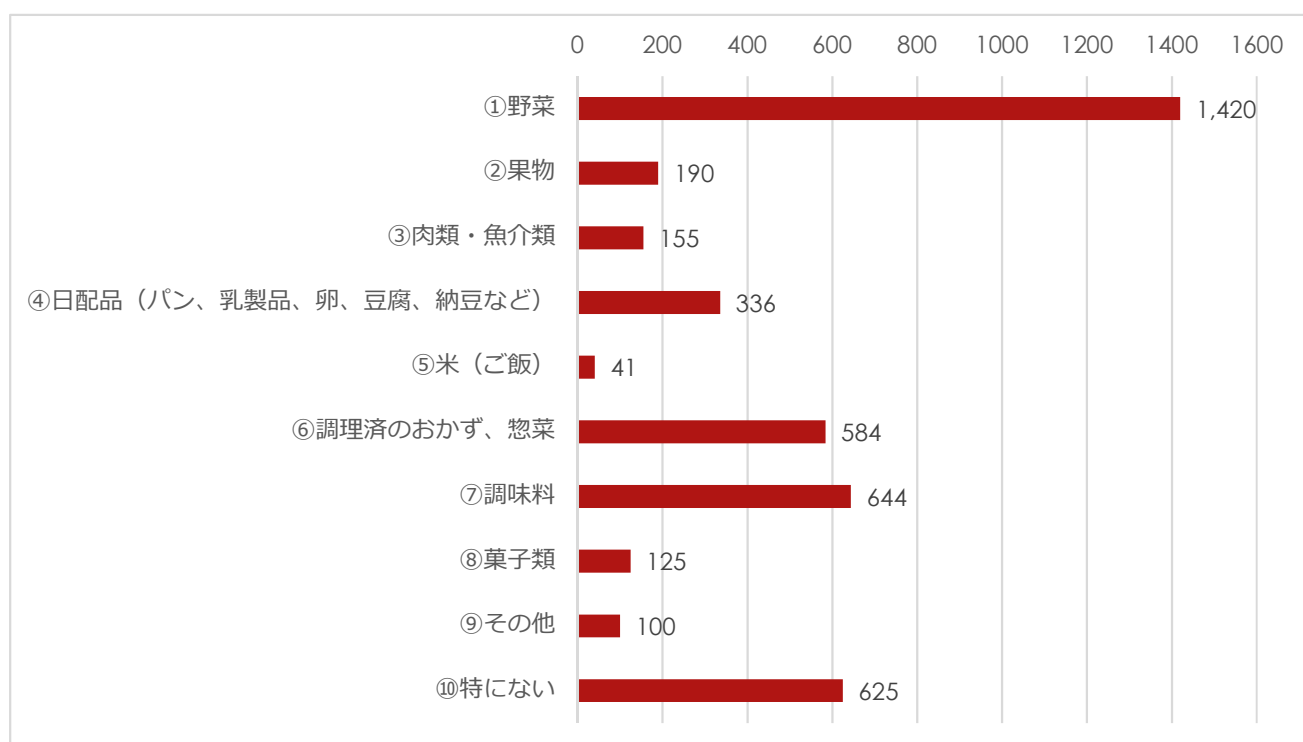
食品ロスの言葉及び意味について、「①知っている」が99. 1%となりました。

問5 あなたのご家庭では、どのような理由で食品ロスが発生しますか。(複数回答可)



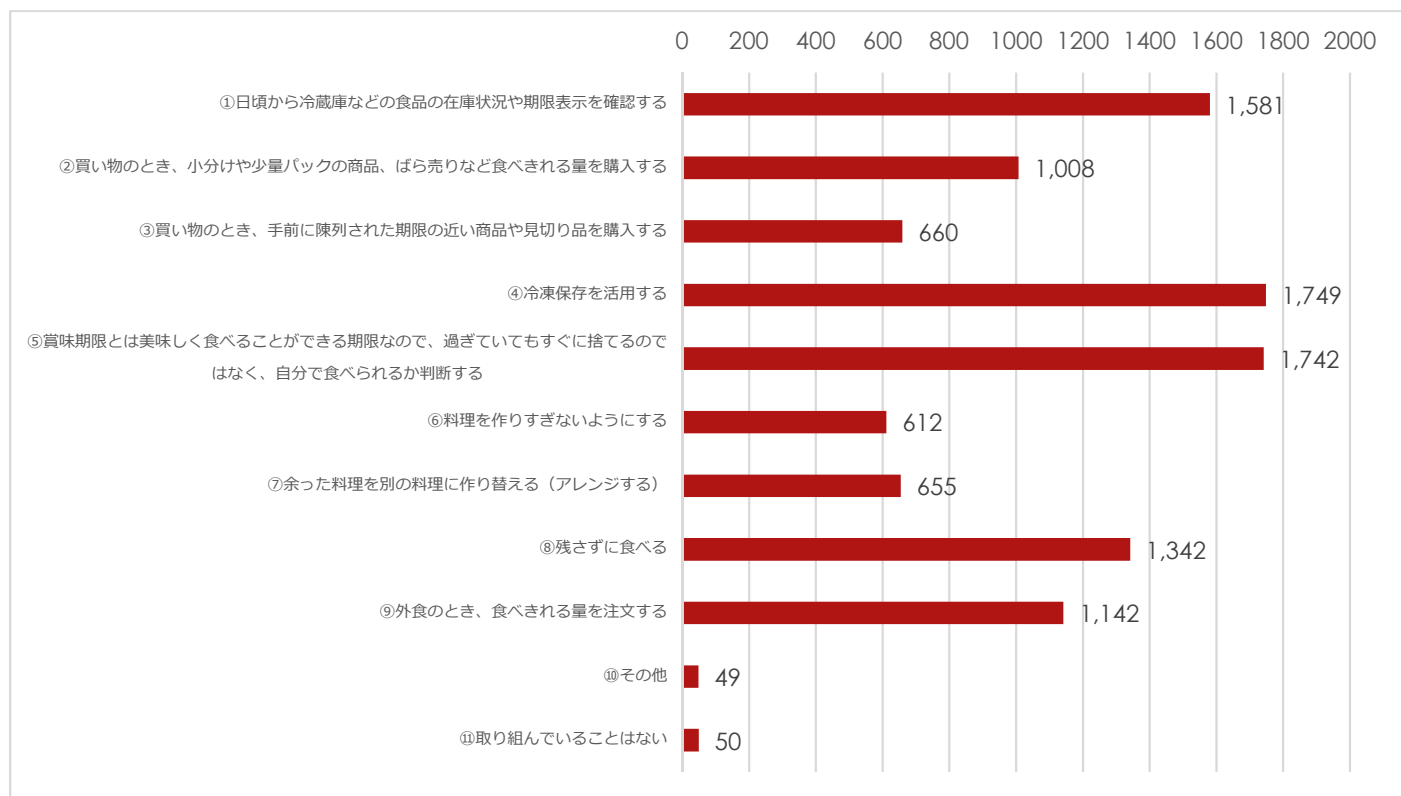
家庭内で食品ロスが発生する原因として、「②食材の傷み」が1,561件(57.5%)、「①期限切れ」が1,436件(52.9%)と、それぞれ半数以上を占めました。

問6 あなたのご家庭で廃棄することが多い食品はどのようなものですか。(複数回答可)



家庭内で廃棄することが多い食品は、「①野菜」が1,420件(52.3%)と最も高くなりました。

問7 食品ロス削減のため、あなたが普段取り組んでいることはありますか。(複数回答可)



食品ロスの削減のために普段取り組んでいることについて、「④冷凍保存を活用する」が1,749件(64.4%)と最も高くなりました。次いで、「⑤賞味期限とは美味しく食べることができる期限なので、過ぎていてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」で1,742件(64.1%)となり、賞味期限を正しく理解していただいている方が多いことも分かりました。

問8 (問7で「⑩その他」と回答した方にお尋ねします)具体的な内容を教えてください。【自由記載】

※多数の意見がありましたので、回答の一部を抜粋してご紹介します。

【買い物】

- ・なるべくスーパーに並んでる食材は日にちの早いものを購入するようには心がけている。
- ・一週間の献立を立てて、それに合わせて買い物をしている。
- ・夫婦2人の共働きなので、疲れると外食したり惣菜で済ましてしまう事が多いので、『安いから』で買わずに、その日に使う分だけを購入するようにしている。

【保存】

- ・冷凍できる野菜は買ってきたその日のうちに下処理して冷凍してしまう。
- ・賞味期限が切れる前に、冷凍庫に保管する。

・小分けにして冷凍保存する。

【調理】

・まず、家庭人数に合う量を考える。作りすぎない。残ったものは翌日のお弁当にする。

・残りが少ないとか、食材の味がいまいちな場合、別の食材と抱合せが出来る食材で作り直して新たなものにつくりかえる。

・キャベツや白菜、ブロッコリーなどの芯は細かく切って使う、焼魚の骨や椎茸の石づきは出汁に使うなど、可能な限り余すところなく料理に使用するようになっている。

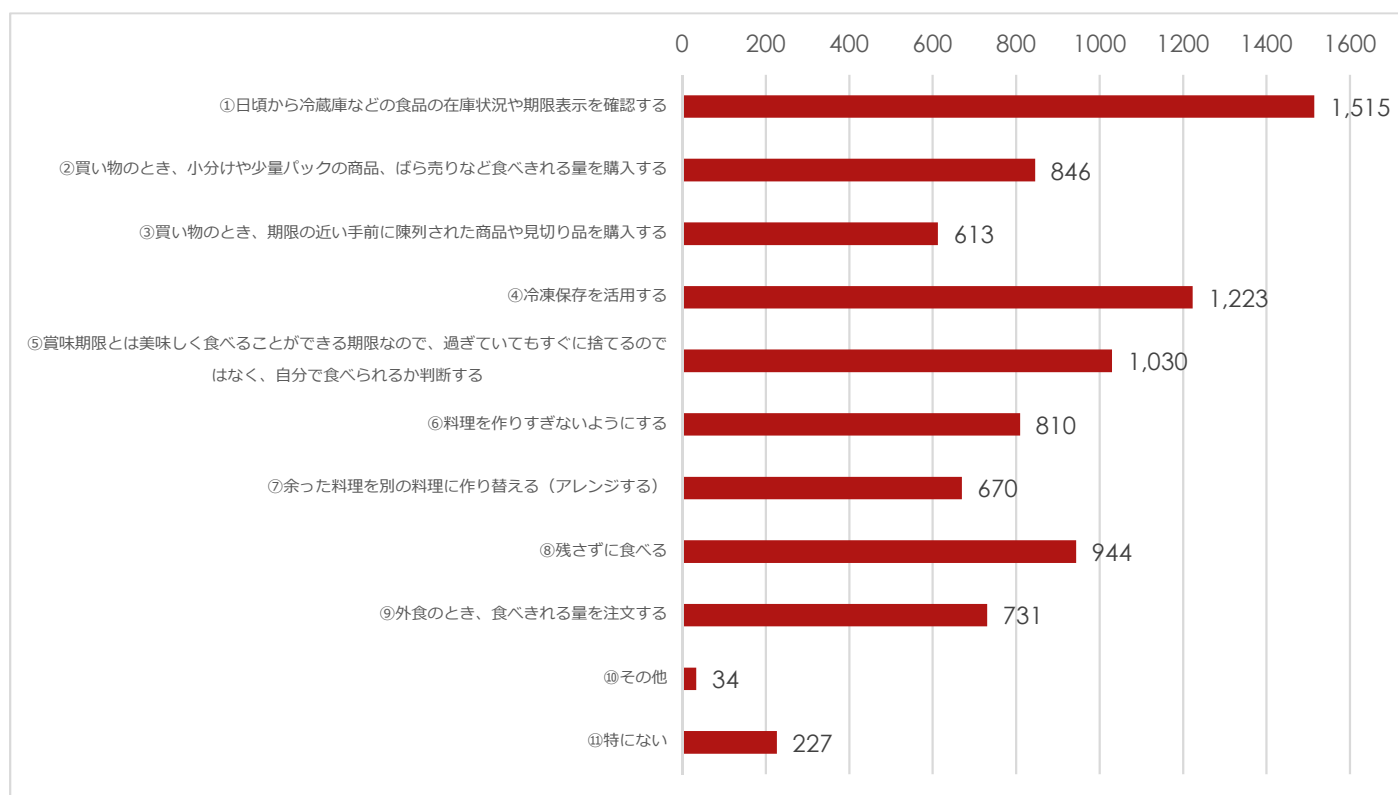
【外食】

・外食の時、食べきれなかったらお持ち帰り可能なら、そうする。

【その他】

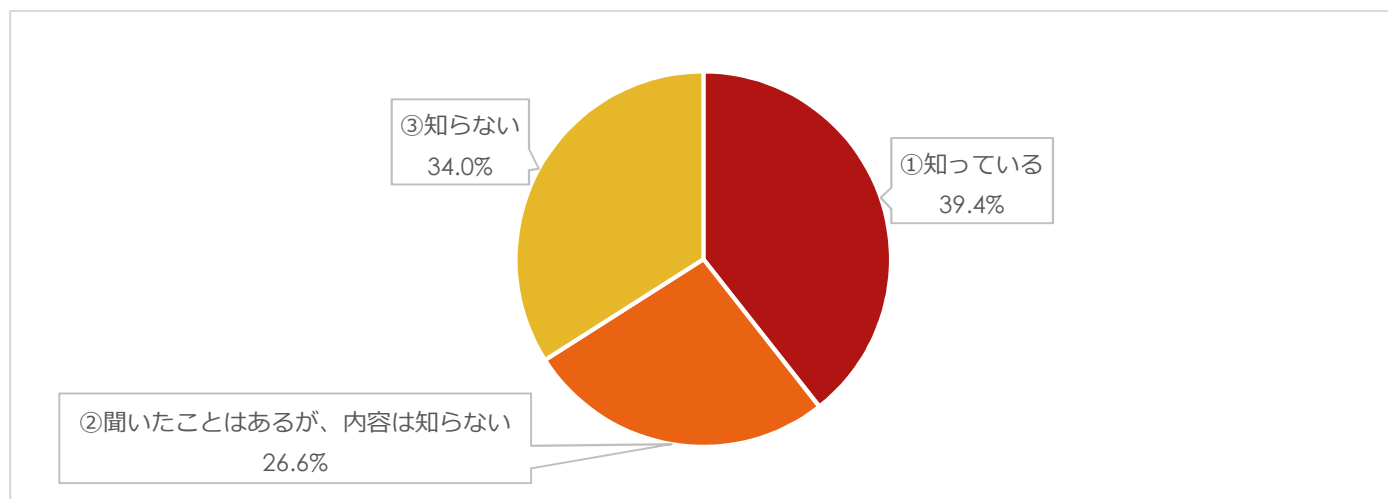
・コンポストを利用している。

問9 食品ロス削減のため、あなたが今後取り組んでみたいことはありますか。(複数回答可)



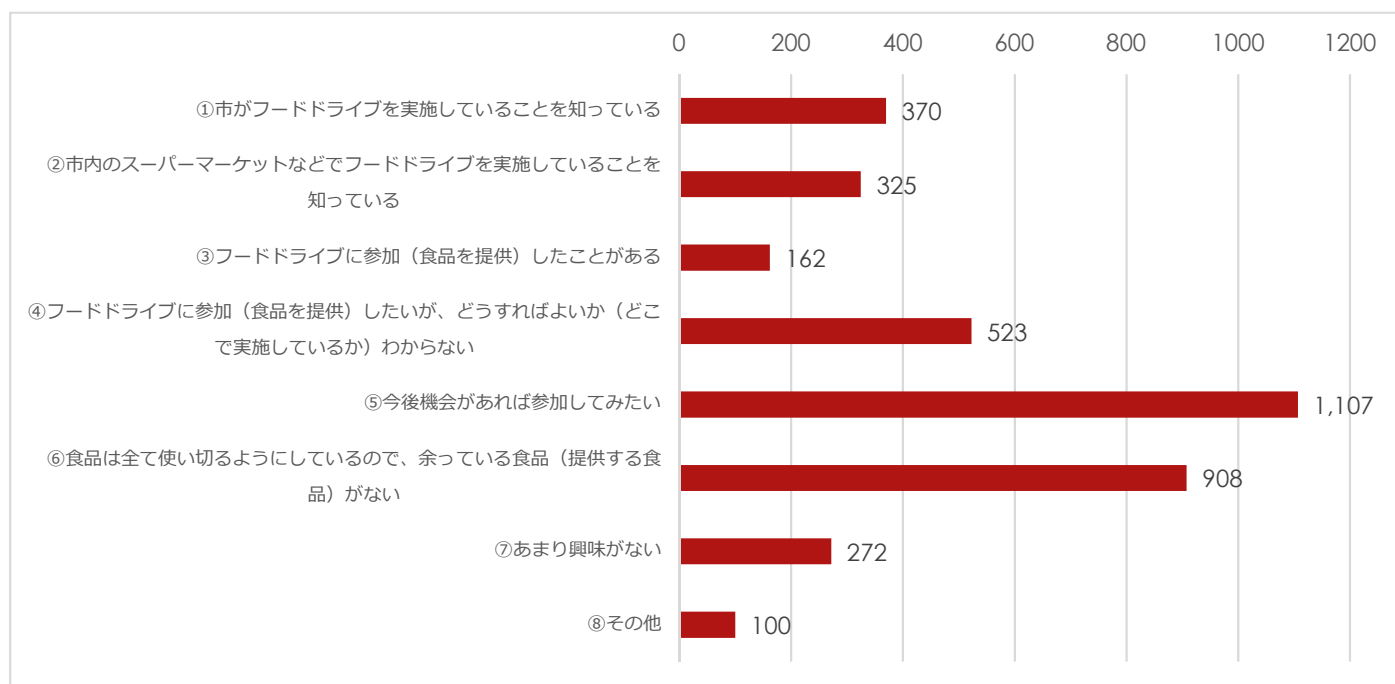
食品ロスの削減のために今後取り組んでみたいこととして、「①日頃から冷蔵庫などの食品の在庫状況や期限表示を確認する」が1,515件(55.8%)と最も高くなっています。

問10 あなたは「フードドライブ」という言葉を知っていますか。



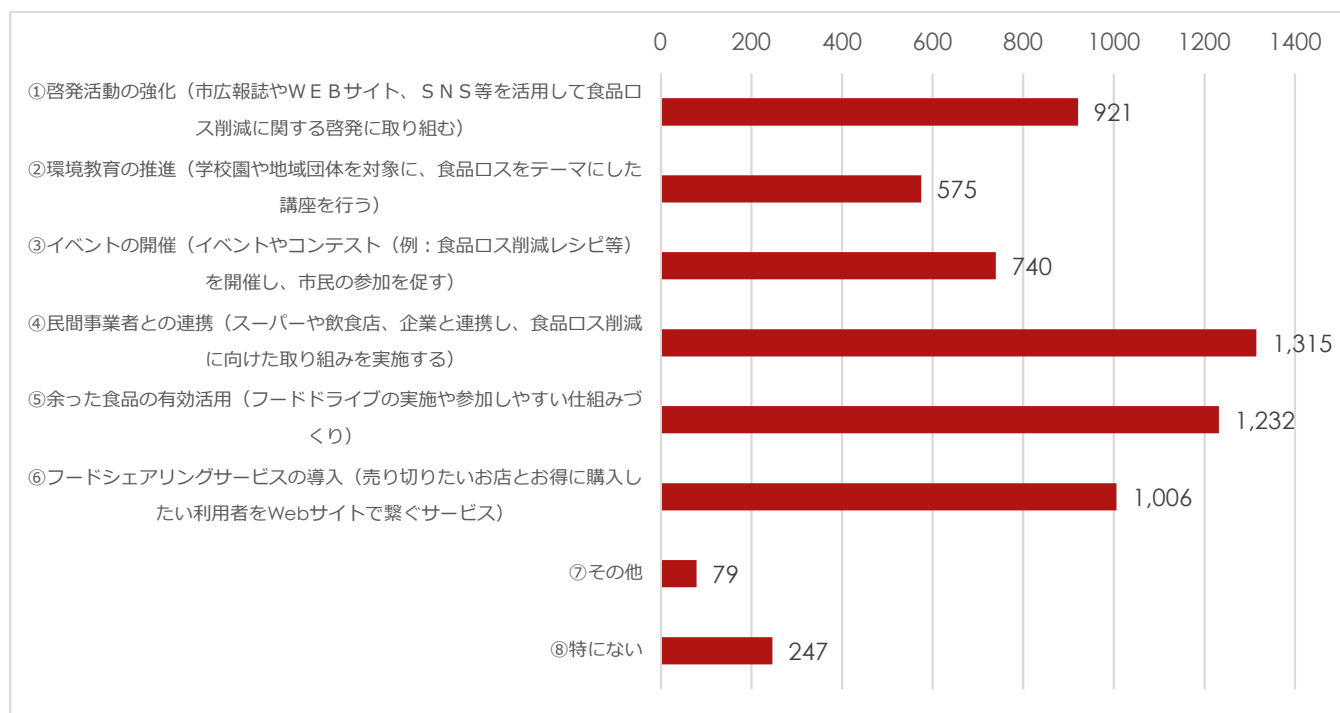
フードドライブの言葉と内容の認知度について、「①知っている」が39.4%、「②聞いたことはあるが、内容は知らない」が26.6%、「③知らない」が34.0%となりました。

問11 「フードドライブ」についてお聞かせください。(複数回答可)



フードドライブについて「①市がフードドライブを実施していることを知っている」と答えた方は全体の13.6%(370件)となりました。また「⑤今後機会があれば参加してみたい」と答えた方は全体の40.8%(1,107件)で、「⑥食品は全て使い切るようにしているので、余っている食品(提供する食品)がない」と答えた方は全体の33.4%(908件)でした。

問12 食品ロスを削減するため、市に求めることは何ですか。(複数回答可)



食品ロス削減のため、市に求めることとして「④民間事業者との連携（スーパーや飲食店、企業と連携し、食品ロス削減に向けた取り組みを実施する）」が1,315件(48.4%)と最も高く、次いで「⑤余った食品の有効活用（フードドライブの実施や参加しやすい仕組みづくり）」が1,232件(45.4%)となりました。

問13（問12で「⑦その他」と回答した方にお尋ねします）具体的な内容を教えてください。【自由記載】

※多数の意見がありましたので、回答の一部を抜粋してご紹介します。

【啓発】

・継続が大切だと思っています。消費者の考えや思いを変えていくのは難しい事なので、先ずお得感を感じてもらえる様なイベントが人を集め、食品ロスを続けて行くとこんなにお得になるんですよ といった効果を知ってもらう、そういう所から始めて行くといいと思います。

・環境教育は子ども達対象には進んでいるし、学校では取り組まれていると思うので、それ以外の部分、大人や親に啓発する取り組みをしてほしい。

【事業系から発生する食品ロス】

・自宅よりもスーパー、コンビニの方がロスが多いと思うので、売り捌けるように工夫が必要。廃棄するのであれば子供食堂や、ひとり親などに提供してはどうか。

・スーパー等でも単身者用、少量パックに力を入れて欲しい。一人用が買いやすい様にして頂きたいです。市や国からそう言う運動をして欲しいです。

・スーパーや百貨店の売れ残りの物を自己責任としてもっと積極的に販売すべきだと思います。お店からゴミ袋に廃棄された商品が山のようにあるのがわかり、商品がかわいそうではない。

・飲食店でドギーバッグ(持ち帰り用バッグ)を定着させて欲しい。

・個人宅のフードロスも問題ですが、スーパーに陳列された大量の食品が売り切られているのか疑問。特に正月の食材など。

・飲食店で少ない量を注文できるように、店舗に働きかけたり、店側の負担になるならならぬようにしてほしい。飲食店で食べきれなかった料理を持ち帰れるように、店舗に働きかけたり、店側の負担になるならならぬようにしてほしい。食べきれない量を買ったり注文しないように、子どもを中心に理由も含めて学ぶ機会を作してほしい。

・期限切れ間近の食品(保存可能な商品を中心に)を格安で購入出来る店舗などを展開して、消費者の負担も軽減しつつ、生産者側と消費者の相互で食品ロスに取り組めるのが理想かなと思います。

【学校給食】

・子どもたちが少食で学校給食が余っていると聞きます。それらを捨てずに何とかできないものかと思います。特に米飯はおにぎりにして食べるとか。食中毒がこわいですが、SDGs の教育としてリメイク料理とか、焼きおにぎりとか、いろんな国の料理にしてみるとかなんかできないですかね、もったいない。

・学校給食の食べ残し率を数値化し、子ども達に伝えて欲しい。市政だよりもに記載する事により、親から子に家庭でも伝わると思う。

・学校給食の残食についてはどう処理されていますか？不登校などにより牛乳やパンや米など事前に余ることが予想されているものが廃棄されているようなことがあればかなり勿体無いと思います。特定の生徒や職員に余りをとすることは難しいと思いますが、こども食堂へ寄付することや、米やパンなら賞味期限切れ間近の食材と加工し販売などすればフードロスを減らせて税収も増えるのではと思います。お米も高くなっていますので、活用できるものは積極的に活用していただけるとありがたいです。

【フードドライブ・フードシェアリングサービス】

・自分のいらないものを人に渡すことに抵抗がある。

・①家で保管しているものなので安全性に不安があり出して良いか悩む。②あまり需要の無い物とかは出しても迷惑になるのではないかと不安になる。

・TABETE アプリに参加する店が東大阪ではそんなにならないように思う。このアプリに限らず、期限の近いものをまとめて少し安くして売り切るなどされたら消費者は購入すると思う、食べられるものを捨てることにすごく抵抗があるので活用してほしいと願っている。

・フードドライブに参加したいが、食品の制限(賞味期限 2 ヶ月以上、瓶詰め不可など)が厳しく持つて行くものがない。もう少し緩和できないでしょうか。

※集計結果は、小数第 2 位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が100%とならないことがあります。

※複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を越える場合があります。